

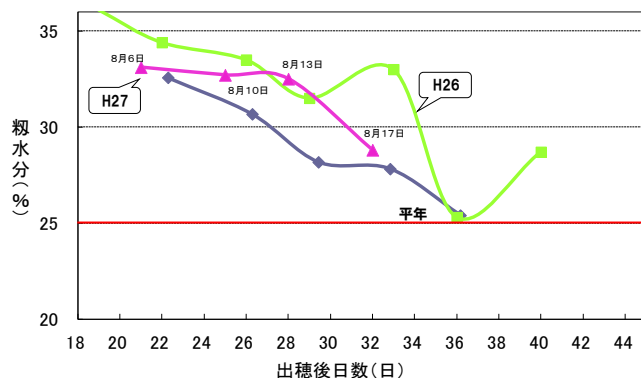
稲作情報 No.16

〔8月17日水稻登熟状況、大麦圃場準備〕

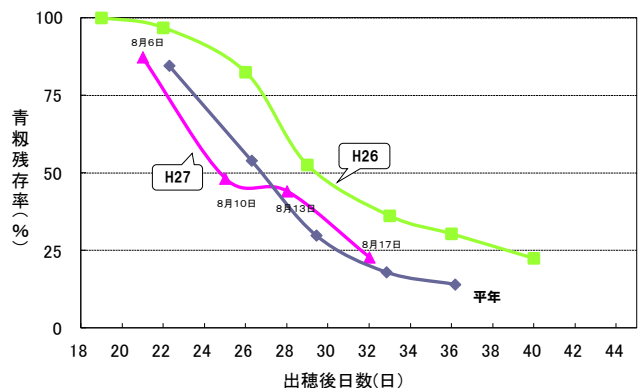
水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、生産振興課、JA中央会、JA経済連、主要農作物振興協会）
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/inasaku.html>

- ・**間断通水を収穫直前まで続け、根の活力維持を図りましょう。**
- ・**圃場田面の乾き具合は入水側と排水側両方を確認しましょう。**
- ・**地域で籾水分を測定して適期収穫に備えましょう。**
- ・**大麦を播種する圃場では、稲刈りが終わりしだい、排水溝を設置しましょう。**

【農試におけるハナエチゼンの籾水分】



- ・農試ハナエチゼンの籾水分は高めに推移。
- ・青籾残存率はほぼ平年並みに推移。

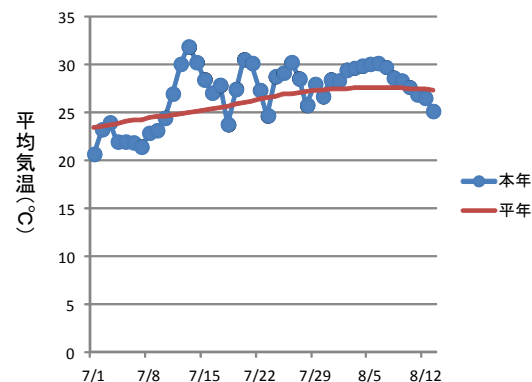


【農試における出穂期以降の積算気温に基づく収穫期予想】

ハナエチゼン(5月2日植)	出穂期	7月16日
	積算気温860°Cに到達する日	<u>8月16日</u>
コシヒカリ(5月20日植)	出穂期	8月3日
	積算気温990°Cに到達する日	<u>9月10日</u>

上記は今後平年並の気温で経過することを前提に算出。今後の気象条件等で変動するので、これを目安に籾水分等を確認して刈取日を決定する。

【7月以降の平均気温(福井)】



- ・7月11日以降、平年を上回る日が多かったが、降雨とともに気温が下がってきた。
- ・予報では、平年並みで気温は推移する見込み。

- ・**胴割防止と登熟向上のため、水管理をこまめに実施しましょう。**
- ・今後の気象条件等によっては、ハナエチゼンの収穫適期が早まる場合もある。収穫が遅れば**胴割粒の発生が懸念**される。余裕を持ってハナエチゼンの収穫準備を進め、万が一収穫適期が早まっても慌てることがないようにしましょう。

【今後の栽培管理】

栽培管理	管理方法
<p>間断通水で登熟向上 適期収穫で胴割れ防止</p>	<p>【ハナエチゼン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫直前まで間断通水を実施し根に水分と酸素を供給する。収穫直前まで圃場の土が白く乾かないようにする。圃場が軟弱な場合は徐々に土を硬くするように努める。排水側の乾き具合も確認して入水を判断する。 ・各地域の出穂後の積算温度から成熟期を大まかに予測する（ハナエチゼンの成熟期は出穂後の積算温度でおおよそ860℃）。 ・予測に基づき圃場ごとの籾水分調査を行う。圃場条件（土質や葉の枯れ上がり、倒伏状況）を考慮した収穫順序を考える。 ・葉色が淡い、穂が小さい、籾数が少ないと早く籾が黄化する傾向にある。圃場の土壌条件（土質、地力、水持ち等）や葉色の推移、下葉の枯れ上がり、成熟期直前の降雨に留意し、適期刈取により胴割れ防止に努める。 ・収穫後は、わらの腐熟促進と漏生籾の発生防止のため早めに秋起しを行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>注意！ 秋起しはハナエチゼンの圃場もコシヒカリ収穫後に行う場合が多い。 ハナエチゼン圃場のヒコバエが実って翌年に漏生籾が発生する事例が発生している。</p> </div> <p>【コシヒカリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫直前まで間断通水を実施し根に水分と酸素を供給する。収穫直前まで圃場の土が白く乾かないようにする。圃場が軟弱な場合は徐々に土を硬くするように努める。排水側の乾き具合も確認して入水を判断する。 ・フェーン現象や強風の日には終日深水管理とする。これらが治まったら直ちに落水する。 ・直播栽培では、根域が浅いので表面の土の乾燥に特に注意する。 ・各地域の出穂後の積算温度から成熟期を大まかに予測する（コシヒカリの成熟期は出穂後の積算温度でおおよそ990℃）。 ・予測に基づき圃場ごとの籾水分調査を行う。圃場条件（土質や葉の枯れ上がり、倒伏状況）を考慮した収穫順序を考える。 ・葉色が淡い、穂が小さい、籾数が少ないと早く籾が黄化する傾向にある。圃場の土壌条件（土質、地力、水持ち等）や葉色の推移、下葉の枯れ上がり、成熟期直前の降雨に留意し、適期刈取により胴割れ防止に努める。 ・カメムシ類の発生は平年、前年より多い。カメムシ防除を地域ぐるみで適期に行う。斑点米の発生が毎年多い地域では収穫14～7日前にも防除を行う。コシヒカリの防除ではハナエチゼンの収穫時期に注意が必要である。 <p>【その他の品種の成熟期を予測する積算温度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イクヒカリ 990℃ ・あきさかり 1070℃ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">一つの水田で入水側は十分湿っていても・・・排水側は相当乾いている</p>

【生育調査結果】

		ハナエチゼン			コシヒカリ								あきさかり		
		農試	坂井農場	現地	農試		坂井農場		現地・慣行		現地・特別栽培		農試	坂井農場	現地
		移植 5/2	移植 5/1	移植 5/3	移植 5/20	直播 5/11	移植 5/15	直播 5/8	移植 5/17	直播 5/3	移植 5/20	直播 5/5	移植 5/2	移植 5/15	移植 5/13
幼穂形成期	本年	6/25	6/25	6/27	7/12	7/17	7/13	7/17	7/12	7/17	7/16	7/16	7/7	7/15	7/15
	平年	6/28	6/28	6/28	7/13	7/16	7/10	7/16	7/12	7/15	7/12	7/15	7/10	7/14	7/10
出穂期	本年	7/16	7/17	7/18	8/3	8/8	8/3	8/7	8/3	8/5	8/3	8/7	7/28	8/5	8/7
	平年	7/20	7/17	7/18	8/3	8/8	8/2	8/8	8/1	8/4	8/1	8/4	8/3	8/8	8/1

【農試気象対策試験における出穂期の止葉の葉色 (SPAD値)】()は平年比

年	ハナエチゼン	コシヒカリ	あきさかり
本年 (SPAD)	34. 8(91)	36. 2(105)	31. 6(93)
26年 (SPAD)	40. 8	34. 6	35. 4
25年 (SPAD)	37. 1	34. 9	34. 6

暑い日が続き水田の水管理は大変ですが、もうひと踏ん張りしていただいて、稲にも活力を与えてあげてください。

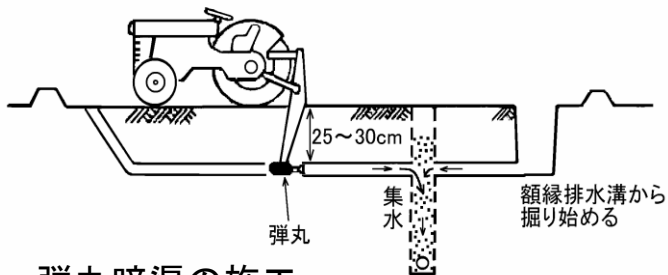
作業	作業の注意点
圃場準備(排水対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・排水口(水尻落とし口)は水稻の水管理で高いことが多い。必ず額縁排水溝の底面より下になるよう掘り下げ、スムーズに水が流れ落ちるようにする。 ・額縁(周囲)排水溝を水稻刈取後できるだけ早く、25~30cmの深さの溝を設置し、圃場の乾燥に努める。 ・サブソイラ補助暗渠の施工は、額縁排水溝設置後すぐに行う。深さ25~30cmで額縁排水溝と連結し、本暗渠と直交に施工する。補助暗渠の施工は、大麦作だけでなく、後作の大豆作やそば作の排水対策にも有効である。 ・サブソイラ施工間隔は通常2~4m。排水が悪い圃場は1.5~2mを目安とする。 ・サブソイラ施工時は額縁排水溝底から引くように施工する。本暗渠と直行方向だけでなく、平行方向にも補助暗渠を設置すると一層排水効果が高まる。また大豆作においてかん水能率も高まる。 ・圃場内排水溝の深さは25~30cm、間隔は3~5m(畝幅)とする。圃場の排水性、播種作業、後作の大豆等の播種作業幅も勘案して施工間隔を決める。 ・暗渠がない場合やサブソイラの施工ができない場合は明渠の数を多くし排水に努める。 ・枕地の畝を作った場合には、畝を切って圃場内部から直接排水口に繋がる排水溝を必ず追加する。



・トレンチャーによる額縁排水溝の設置



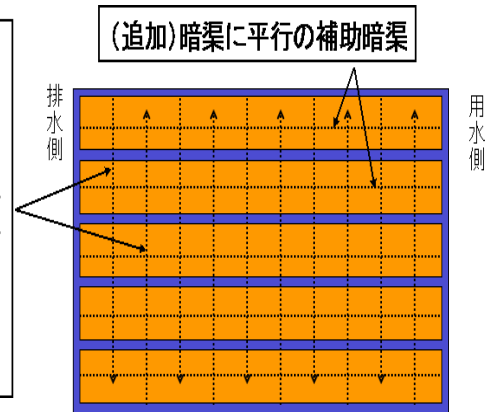
・排水溝が高い場合は畦畔を切り排水する



・弾丸暗渠の施工



暗渠と交差した補助暗渠
(標準)



ふくいアグリネット「稲作情報システム」のご案内

ふくいアグリネット <http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/>
 稲作情報システム http://www.agri-et.pref.fukui.lg.jp/gizyutsu/ine_sys/index.html

①ふくいアグリネット・トップ→ 農業技術情報 →稲作情報システム

②年度、情報(生育状況、収量・品質)、地域、地点を選択

NO	地名名	品種	栽培方法	地域区分
4	高山一穂産	ハナエチゼン	移植	高丹中
7	あむのこ伊豆	ハナエチゼン	移植	越丹平
45	富士農産一戸大	ハナエチゼン	移植	越丹平
54	福井農産ニシムネ	コヒカリ	移植	越丹平
56	福井一穂産	ハナエチゼン	移植	高丹平
110	福井二下直産(直産)	コヒカリ	直産	越丹平
112	あむのこ直産(直産)	コヒカリ	直産	越丹平
113	富士農産一戸産	コヒカリ	直産	越丹平
70	福井二下直産(直産)	コヒカリ	直産	高丹平
71	福井二上直産(直産)	コヒカリ	直産	高丹平
72	永平二上直産(直産)	コヒカリ	直産	高丹平
73	津島二上直産(直産)	コヒカリ	直産	高丹平
74	三浦二上直産(直産)	コヒカリ	直産	越丹平
75	丸岡二下直産(直産)	コヒカリ	直産	越丹平
76	丸岡二上直産(直産)	コヒカリ	直産	越丹平
83	福井二下直	あまのこ	移植	高丹平
116	丸岡一穂産	ハナエチゼン	移植	越丹平

③生育状況、収量、品質のグラフを表示

福井県農業情報ポータルサイト「ふくいアグリネット」において、県内各地(約40地点)の水稻の生育状況や収量・品質の調査データを「稲作情報システム」で掲載しています。現在の生育状況はもちろん、過去のデータ(生育、収量・品質)を調べることができます。ぜひご利用ください。

【天気予報】

8月19日5時発表

気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

日付	19	20	21	22	23	24	25	
福井県	曇時々晴	雨時々止む	曇一時雨	曇時々晴	曇時々晴	曇時々晴	曇時々晴	
降水確率(%)	~/10.0/20	50/70/60/60	50	30	20	30	30	
信頼度	/	/	C	B	A	B	B	
福井	最高(°C)	31	29	28 (26~30)	31 (28~33)	32 (29~35)	32 (30~34)	34 (31~36)
最低(°C)	/	23	23 (22~24)	23 (22~24)	23 (21~24)	23 (21~25)	24 (22~25)	

【メールマガジン e農メール】

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



携帯電話ではQRコードで簡単アクセス

秋の田起こしによる おいしい米づくり を推進しています

Point

1 気温が高い10月中に実施

土中にすき込み、稲わらの腐熟を促進

2 田起こしはゆっくり、深さ15cmを確保

速度は歩く速さの1/4が目安 今ある機械で実践可能

3 有機物・ケイ酸の補給

稲わらの腐熟により有機物やケイ酸が増え、地力UP

深く起こすと根の張り良くなり、反収が多く、品質の良い米ができるよ。



収穫時の根の状態

耕うんの深さ
9cm



↓

耕うんの深さ
15cm



反収アップで
収入増!!

反収

約530kg



約580kg

胴割発生減で
品質向上!!

胴割発生率

約13%



約1%

10月中の秋起こしを完了できるよう計画的に作業を進めましょう。

お問い合わせは福井県嶺南振興局農業経営支援部まで